



JForest 栃木県森林組合連合会機関紙

発行/栃木県森林組合連合会
住所/宇都宮市西一の沢町8番22号
☎028-637-1450 FAX028-637-1454
URL/http://www.tochimori.or.jp
E-mail/info@tochimori.or.jp



第350号

第73回通常総会の開催



あいさつをする代表理事会長 江連比出市

令和6年3月22日護国会館にて、当会の第73回通常総会を開催しました。福田富一知事をはじめ、多数の来賓の皆様にご臨席いただきました。

那須南森林組合代表理事組合長の藤田悦男氏を議長に選任し、議事は執行部が提出した、令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画案などが審議され、全議案とも原案どおりに承認されました。

事業別優秀組合表彰

総会にあわせて、事業別優秀組合の表彰も行いました。受賞の組合様、おめでとうございます。会員の皆様には、引き続き系統事業の推進の取組をお願いいたします。

木材共販の部

Table with 4 columns: 区分, 組合名, 出荷数量, 金額. Rows for 優秀賞, 那須町森林組合, 栗野森林組合.

木材共販の部 (出荷量連続増加)

Table with 4 columns: 区分, 組合名, 増加率(直近), 連続年数. Rows for 優秀賞, 大田原市森林組合, 那須町森林組合, たかはら森林組合, 栗野森林組合.



功労賞

Table with 2 columns: 氏名, 役職名. Row for 深澤等, 前那須南森林組合代表理事組合長.

購買の部

Table with 3 columns: 区分, 組合名, 金額. Rows for 優秀賞, みかも森林組合, 栗野森林組合, 鹿沼市森林組合.

職員の部(30年勤続賞)

Table with 2 columns: 氏名, 所属. Row for 神山清司, 鹿沼木材共販所.

森林保険の部

Table with 3 columns: 区分, 組合名, 保険料. Rows for 優秀賞, 那須町森林組合, みかも森林組合, 大田原市森林組合.

職員の部(20年勤続賞)

Table with 2 columns: 氏名, 所属. Row for 屋代慎一, 鹿沼木材共販所.

技能職員の部(20年勤続賞)

Table with 2 columns: 氏名, 所属. Row for 川井政範, 大田原木材共販所.



県森連 中期経営計画の改訂

月日が経つのは早いもので、平成31年3月に中期経営計画を策定してから、5年が経過しました。その間、森林環境譲与税の譲与開始やウッドショックなど、我々森林組合系統を取り巻く環境は大きく変化しました。長期的な視点に立って策定した本計画ですが、5年を経て計画どおりに進捗しているもの、そうでないもの、新たな視点で対応すべき課題等が浮き彫りになり、今回の見直しとなりました。

主な見直し点には、共販事業の改革やドローンの有効活用等をあげています。今後も年度計画の策定を本計画に基づいて行うとともに、毎年PDCAを行いながら、役職員一丸となって取り組んでまいります。



林野庁参照

県森連では、任期満了に伴う理事及び監事の改選を行い、新しい執行体制となりました。
 また、令和6年度は参事を配置するほか、組合指導強化や新たなニーズへ迅速に対応するため組織改編を行い、総務指導課を総務課と指導企画課に再編しました。よろしくお願いいたします。

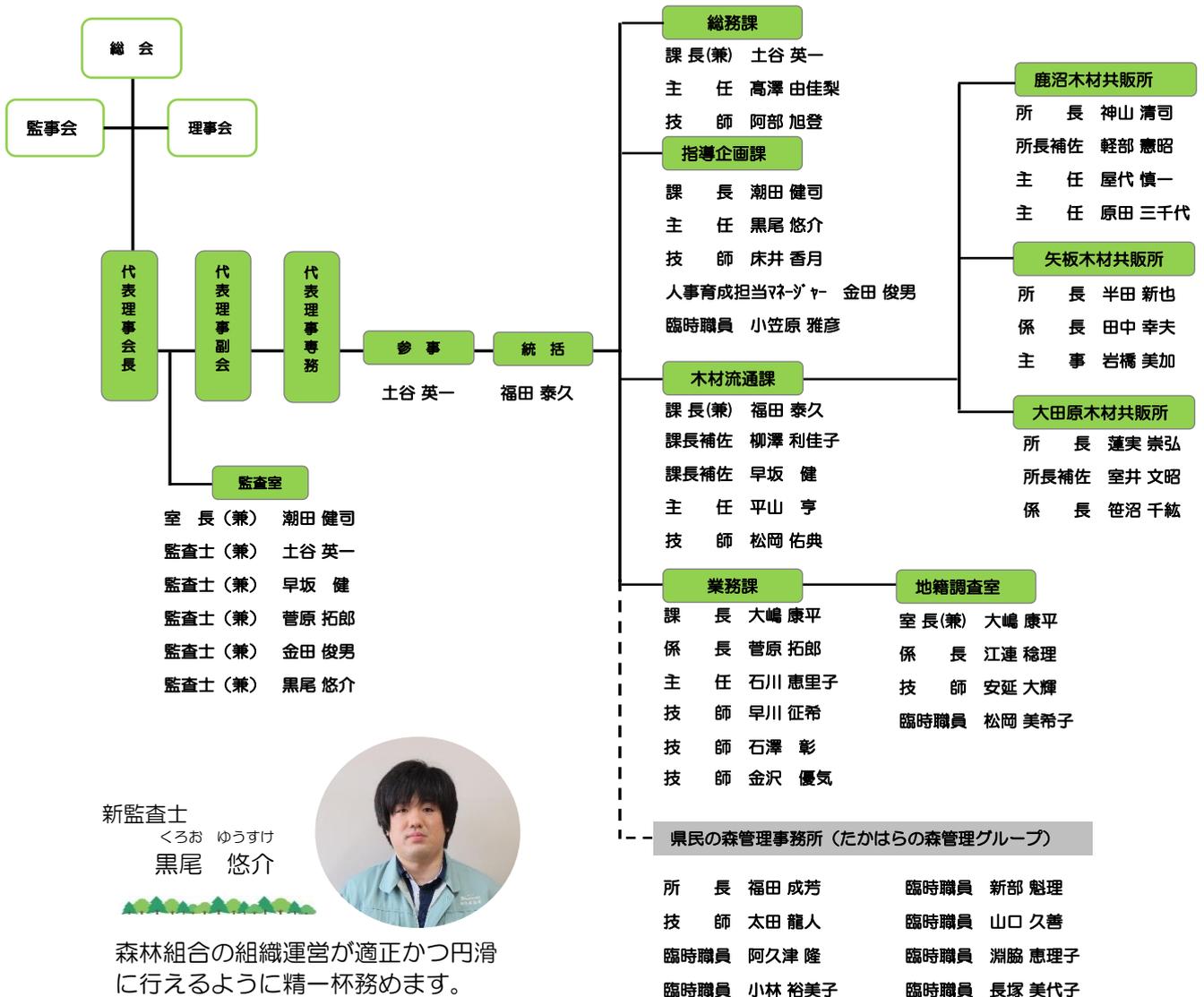
【執行体制】

役職名	氏名
代表理事会長	江連 比出市
代表理事副会長	佐藤 和之
代表理事専務	佐橋 正美
理事	澤田 吉夫
理事	植竹 雅弘
理事	神山 義一
理事	大坪 良悦
理事	三森 康雄
理事	山越 智行

役職名	氏名
代表監事	渡辺 保
監事	福田 嘉男
監事	藤田 悦男



栃木県森林組合連合会組織図 (令和6年5月1日現在)



新監査士
 くらお ゆうすけ
 黒尾 悠介



森林組合の組織運営が適正かつ円滑に行えるように精一杯務めます。

今後の木材共販事業の取組

【川上・川中の状況と木材共販事業の現状】

栃木県内の川上の出材能力は、施業の集約化、高性能林業機械の効率的稼働等により増加傾向にあります。また、川中である製材工場についても大規模な施設の拡充によって原木需要が高まっており、今後も原木の流通量増大が期待されています。

しかし、県森連木材共販所における現在の年間取扱量は、土場の規模、市の回数や機械の選別能力等の関係から、16万m³程度が上限となっており、流通量増大に対応すべく新たな流通体制の構築を進めることが喫緊の課題となっています。

【新たな流通体制の構築】

そこで県森連では、従前の市売りに加え、山土場から直接、製材工場へ輸送する、直送販売に力を入れていきます。

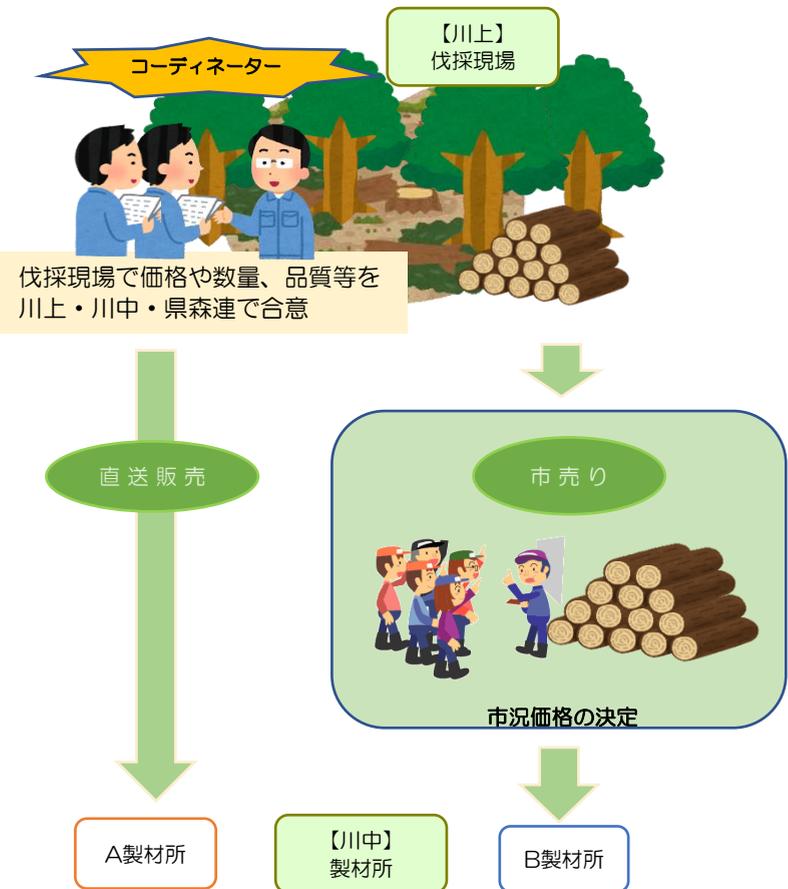
直送販売は、共販所土場の桟積み状況や機械の選別能力に左右されないため、より多くの需要へ対応できます。

また、小径材やチップ用材等の平均市況を下回る丸太の流通経費を抑えることができ、山側への還元を第一に考えた木材流通が可能となります。

直送販売では、山土場での丸太の仕分けや検知をしていただく必要があります。

また、購入者の皆様には伐採現場で材積や価格、数量や品質等を確認いただき、両者合意の上、販売が成立します。

今後、川上と川中のマッチングをサポートする直送コーディネーターを設置し、より円滑な流通体制の構築を進めてまいりますので、皆様、ご協力をお願いします。



「直送コーディネーター」として木材流通をサポートします！

直送販売を強化するにあたり、直送コーディネーターを設置しました。現在では、各木材共販所長が担当しており、川上の供給量把握、川中の規格や数量等の需要情報収集を行いながら、需要と供給のミスマッチを減らした円滑な木材流通のサポートを行っています。

また、複数の伐採現場からの供給量を取りまとめることで、大口かつ安定的な原木供給を可能にします。

川上に対しては、川中の需要に即した造材指導を行い、売先確保を強化します。そして、共販所における余剰在庫を減らすことで価格を安定させ、山側へ還元します。

大田原木材共販所選別機更新工事について

令和6年1月より更新工事を進めております、大田原木材共販所選別機建屋が令和6年4月に完成いたしました。5月より選別機本体の設置工事が始まり、6月中旬には新選別機が稼働開始予定となっております。

なお、7月上旬までは旧選別機の解体工事が続きますので、ご迷惑をお掛けしますが、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



完成した選別機建屋

森林環境税譲与税の用途の事例紹介 ～航測法を用いた「森林施業区域確認業務」～

森林環境税は令和6年度から課税され、森林環境譲与税として、市町村等による植栽や間伐等の森林整備や林業を担う人材の育成・確保、木材利用の促進等の費用に充てられています。

宇都宮市では、森林整備を行うために境界の明確化を進めています、しかし、世代交代や市外への転居等により、現地立会いによる境界の把握が困難であるという課題があります。

そこで、航測法を用いた地籍調査の実績があり、効率的な境界確認手法についてのノウハウがある県森連が、この事業を受託することとなりました。

【対象地】

場 所：宇都宮市富屋地区の山林部 / 面積：約24ha
筆 数：調査対象地 41筆 / 所有者数：40名（隣接地含む）

【調査の概要】

航空レーザで計測した地形情報や公図に森林計画図等を参照して作成した境界案を、地区市民センター等の集会所で、所有者の方々に図面やモニターを見ながら確認していただきます。通常、所有者から要望がある場合を除き、現地での立会いは行わずに境界確認調査を行っています。

その後、調査結果をもとに、宇都宮市では山林所有者に向けて、森林施業への意向調査を行い、翌年から間伐等の施業に繋げていきます。



栃木県林業大学校 落成記念式典・入学式 開催 江連会長が挨拶、業務課はドローンで激励



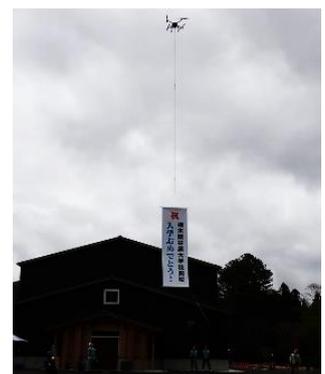
新入生を激励する 江連比出市会長

令和6年4月8日(月)に、落成記念式典及び入学式が開催され、江連会長が出席しました。入学式で江連会長は、「これから1年間この林業大学校でしっかり学んでいただき、即戦力となる技術・技能を習得して卒業してください。私ども、林業事業体も実習等では最大限バックアップさせていただき所存です。」と21名の新入生を激励しました。

業務課では、資材運搬用ドローン「森飛15」を使用して、新入生及び関係者が通過するタイミングでドローンを使用して垂れ幕を掲げ、入学を祝しました。垂れ幕を掲げる作業は県森連では初の試みでした。風圧で垂れ幕が回転することや垂れ幕のブレによりドローンが煽られる等の課題点がありましたが、重りの設置や紐の長さを調節する等の工夫により無事に掲げることができました。

さらに、苗木運搬のデモンストレーションも行い、新入生に向けて、これからの林業をPRすることができました。

また、県森連及び農林中央金庫宇都宮支店では、栃木県林業大学校設立のお祝いに、栃木県産材使用のロビーテーブル・イスおよびパンフレットラックをに寄贈しました。現在は1階交流スペースに設置されており、学生の皆様や大学を訪れる多くの方に、栃木県産木材の魅力を感じていただければ幸いです。



ドローンで掲げた垂れ幕



運搬デモンストレーション

林業の成長産業化に貢献する人材の育成

(1) 緑の雇用と林業就業支援講習を併用しながら林業人材の育成

本会では、就業者のスキルアップとして林野庁の「緑の雇用」事業と未就業者に対する厚生労働省の「就業支援講習」を併用しながら、新規就業者を確保・育成を進めているところです。

(2) R6の緑の雇用研修の概要

今年度は、右表のとおり14事業体に在籍する計68人を対象として実施することとしています。

この研修のうち、就業経験の少ないFW（フォレストワーカー）に対しては、3年をかけて、様々な技能を身に付けられるよう集合研修できめ細かく知識の習得や資格取得を行うほか、各経営体では指導員が現場でOJT研修を行っていきます。

さらに、FW研修生を指導する人材として、班長クラスのFL（フォレストリーダー）や総括現場責任者FM（フォレストマネージャー）などの育成も並行して進めていきます。

なお、FL研修については、茨城県の研修生7名も受入れて実施していくこととしています。

R6「緑の雇用」研修事業の実施計画 (単位：人)

区分	経営体名	TR研修	FW研修			FL研修	FM研修
			1年次	2年目	3年目		
森林組合	たかはら森林組合	2	2	2	1	1	
	栗野森林組合				3	2	
	那須町森林組合	1	1	2		2	1
	鹿沼市森林組合	2	2	3		1	
	那須南森林組合			1			
	大田原市森林組合	2	1	2	2	3	2
	芳賀地区森林組合	1		2		2	
	日光市森林組合	2	1	2	2	1	
その他の経営体 <small>(茨城県受入れ含む)</small>			3	1	3	9	
計		10	10	15	11	21	3

(3) 新規参入者確保に向けた主なアプローチ（計画）

新規就業者を確保するためには、林業という仕事を幅広く周知し、関心を寄せた方の相談にのり、体験等の機会も提供しながら、まずは、ミスマッチのない本格就業に繋げていくことが重要です。就業前の方々には、広報紙、SNSにより情報発信を行いながら、林業の現場を自分の目で観る見学会や「森林の仕事ガイダンス」等の相談会により理解を深めていただいています。

また、「林業就業支援講習」により一定の資格取得や体験の時間を設け、本格就業の準備講習も行っています。今年度の予定は次のとおりです。

林業の仕事見学



令和6年8月31日開催予定

林業就業支援講習（5日間・20日間）



5日間講習：令和6年10月1日～
20日間講習：令和6年11月6日～

森林の仕事ガイダンス（東京都・宇都宮市）



東京会場：令和6年9月21～22日
宇都宮会場：令和6年11月30日

(4) 未就業者に対する林業就業支援講習などの体験機会の増加

今年、県が開校させた林業大学校は、未就業者に対して林業への路を開く大きなインセンティブとなると歓迎しています。

本会においても、未就業者がリアルな林業の作業を体験できるという観点から厚生労働省助成の「林業就業支援講習」が重要と考え、従前の20日コースに加えて昨年より5日間コースを設けるとともに、森林の仕事ガイダンスのマッチング支援として1日限りの現場見学会などを開催する予定です。多種多様な内容により、未就業者に対して他産業より魅力ある存在感を持ってもらえるように努めて、1人でも多くの森林ワーカーの確保を図っていきたくと考えています。

令和5年度修了者就業率

催事名	期間	修了者数	林業就業者	就業率
就業支援講習	20日	9	5	55.6%
	5日	8	3	37.5%
現場見学会	1日	13	2	15.4%

県民の森のコーナー

「たかはらの森管理グループ」（栃木県森林組合連合会、たかはら森林組合、高原林産株式会社）は、栃木県県民の森の指定管理業務を平成25年より開始して、本年で12年目になりました。

また、栃木県県民の森は、昭和49年に明治100年を記念して設置されてから本年で開設50周年になりました。

今後も、多くのお客様に安心して県民の森をご利用いただけるよう、スタッフ一同万全の体制で接客対応をさせていただきますので皆様のご来場を心よりお待ちしております。

キャンプ場 4/26オープン!

今年度キャンプ場の開設期間は4月26日から9月29日までを予定しております。

バンガローや高床式固定テント、持ち込みで利用できるテントサイトの開設のほか、Wi-Fiや電源コンセントも設置しています。



新緑のキャンプ場（GWの様子）

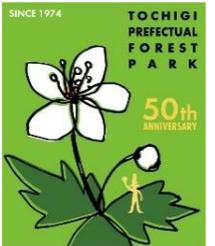
また、今年度からネット予約サイト「なっぴ」を導入し、インターネットからのご予約も可能になりました。

詳しくは、右QRコードよりサイトをご確認ください。

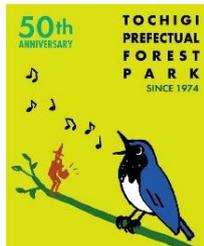


オリジナルステッカー配布

森林展示館にて毎月デザインが変わるオリジナルステッカーを配布しています。各月先着100名に配布しています。



4月ステッカー



5月ステッカー

県民の森開設50周年記念イベント実施!

※詳細は県民の森HPをご確認ください

クラフト開放Day!

自由クラフト、小枝のえんぴつ、子供イスづくりなどネイチャークラフト体験がお得に出来るイベントを実施予定です。



自由クラフト

スタンプラリー

栃木県県民の森、山の駅たかはら、森林の駅もみじ谷大吊橋の3施設を巡るスタンプラリーを7月より実施予定です。



令和6年度森の集いスケジュール

栃木県 県民の森 50th ANNIVERSARY TOCHIGI PREFECTURAL FOREST PARK SINCE 1974

森の集い 2024

4/27 春の野鳥観察・さえずり体験
5/8 苔玉づくり体験①
5/8 苔玉づくり体験②
7/20 藍の生葉染め体験①
7/20 藍の生葉染め体験②
8/3 夏休みの森の昆虫観察
9/14 ツリクラライミング

9/14 ツリクラライミング (県民の森)
11/20-12/1 月間飾り作り体験
12/14 正月飾り作り体験
1/26 竹を使ってバームクーヘン作り
2/8 シイタケ駒打ち体験①
2/8 シイタケ駒打ち体験②

TEL: 0287-43-0479



けんもりプログラムスケジュール

けんもりプログラム

5/12 新緑をたのしむ
10/27 紅葉をたのしむ

けんもりはんばい
チャレソコナー
演流釣り場

けんもりプログラムスケジュール



【開設50周年記念ページ】 県民の森の設置と時の流れ

(1) 県民の森を含む高原県有林を県が取得



植付初期の高原県有林遠景

「県民の森」のある高原県有林は、大正12年に旧陸軍の軍馬養成所跡地を栃木県が取得したことに始まります。大正末期から昭和初期には、年間50～60haの新植を実施していますが、路網もなく運搬や森林作業を全て人手に依存していたことから、先人の並々ならぬ苦勞が語り継がれています。

その後、昭和27年に開拓不適地等の払い下げを受けたことにより、ほぼ現在の所有面積1,607haとなっています。

(2) 県民の森を設置

昭和28年には林業指導所が開設され、林業の担い手となる若者が巣立っていきました。これらを経て、昭和43年に高原県有林において明治百年記念式典が開催され、昭和49年に記念事業の一環として、高原県有林の一部に「県民の森」が設置されました。その管理・運営のため県民の森管理事務所が開設され、キャンプ場、遊歩道、ベンチ等の施設整備が行われ、平成25年3月まで県直営で管理されてきたところです。



明治100年を記念して建てられた石碑

(3) 皇室と県民の森

県民の森地内において、昭和57年には第33回全国植樹祭、平成8年には第20回全国育樹祭が開催されました。

全国植樹祭には天皇陛下・同妃殿下（昭和天皇）、全国育樹祭には皇太子殿下・同妃殿下（現天皇陛下・同妃殿下）がお出でになり、県民の森の施設もご視察いただきました。



全国育樹祭式典の全景



鳥獣保護施設のご視察



森林展示館のご視察



お手入れ作業の様子

(4) 林業指導所の開設

昭和28年4月に林業教育、林業に関する試験研究、高原県有林の管理経営を目的として「栃木県林業指導所」が開所しました。高原県有林の経営や林業に関する人材育成を担った点で忘れてはならない存在です。林家の子弟に自立経営に必要な知識と技術を教え、民有林経営の中堅層となる人物を養成することを目的として、全寮制で林業教育が行われました。

林業指導所は昭和39年まで続き、同年4月に開所した「県林業センター」（宇都宮市）へ、その役割が引き継がれました。



林業指導所の校舎



朝のラジオ体操

- (1) 講習期間：1年間（ただし、第1・2期は2年間。）
- (2) 募集定員：20名
- (3) 入所資格：中卒以上
- (4) 費用等：学費2,500円/月
（作業手当として4,000円/月が支給）



県民の森ホームページは
こちらから

(5) 「たかはらの森管理グループ」が平成25年4月より指定管理者に

県の指定管理者制度の導入により、平成25年4月より「たかはらの森管理グループ」が運営を委託されています。運営も12年目を迎えていますが、来訪者の皆様に喜んでいただけるプログラムを用意してお待ちしております。

今年は、50周年を記念したイベント(前ページに記載)を実施します。



※本ページの引用・転載：「県民の森の軌跡」
H25.3栃木県県民の森管理事務所刊

お知らせのページ



系統支援募金活動を行いました。

令和6年能登半島地震におきまして被災されました地域の皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。この地震は能登半島を中心に北陸地方等に甚大な被害をもたらしており、森林組合・連合会施設のほか、役職員のご家庭にも大きな被害が生じているところでもあります。

そこで森林組合系統では、被災地域の系統を支援するため、募金活動を実施することとなりました。

栃木県においても、傘下11森林組合の支援を得て、合計200万円の支援募金を全森連を通じて被災地域に送りました。

1日も早い復興を心からお祈り申し上げます。



災害に備える森林保険への加入はお済ですか。令和6年4月より保険料が下がります。

森林保険は、以下の8つの災害による森林への損害を総合的に補償します。

保険金のお支払いの対象となる8つの災害

火災 山火事や 火災で 焼けたり	風害 暴風による 倒木、暴風 による倒木 などの被害	水害 豪雨、洪水による 浸水、水害、 冠水などの被害	雪害 大雪降雪による 倒木、積雪 などの被害	干害 乾燥による 枯死などの 被害	凍害 凍結、凍害など による倒木など の被害	潮害 暴風、高潮など による倒木など の被害	噴火災 山火事による 倒木、噴火、 噴霧、噴霧 などの被害
----------------------------------	---	--	--	-----------------------------------	--	--	--

令和6年には、近年の自然災害に対応するため、保険料率や契約期間等が見直されました。4月開始の契約から、保険料率が前年度より2割程度値下げとなります。

近年、相次ぐ災害への備えとしてご加入を検討してはいかがでしょうか。

商品改訂の詳細は、QRコードより森林保険センターホームページをご覧ください。



加入の申込は、お近くの森林組合または栃木県森林組合連合会へお問い合わせください。詳しくはこちら↑

改定内容

針葉樹		広葉樹	
1~5年生	5.36円 ▶ 3.96円	1~5年生	2.68円 ▶ 1.98円
6年生~	4.03円 ▶ 3.13円	6年生~	2.02円 ▶ 1.57円

*保険料率は、保険金額1,000円あたりの金額です。

ご契約お見積り例

スギ1年生(保険金額101万円) 年額保険料 5,413円 ▶ 3,999円/ha !

林齢	保険金額	旧料率	新料率
1年生	101万円	5,413円	▶▶▶ 3,999円
2年生	119万円	6,188円	▶▶▶ 4,569円
3年生	144万円	7,488円	▶▶▶ 5,529円
4年生	166万円	8,632円	▶▶▶ 6,374円
5年生	188万円	9,776円	▶▶▶ 7,219円
	総額保険料	37,497円	▶▶▶ 27,690円
	5年分の一括払い (長期割引適用)	34,275円	▶▶▶ 25,324円



令和6年度も安全装備品の購入助成があります。

農林中央金庫では、令和6年度も林業用安全装備品の購入費の助成を行います。

① 助成対象団体：労働安全衛生に取り組む森林組合及び連合会

② 助成対象備品：

- 一定の防護機能を有する安全装備
(防護スボン、ブーツ、ヘルメットの他、特殊クサビ、高視認安全服を追加)
- 熱中症防止のための空調服、防虫・防獣用品
(商品が拡充されています。)
- 研修資材(伐倒ガイドレーザー他)

③ 助成率：30%

④ 募集期間：下期募集は9月1日~9月30日まで

令和6年度
安全対策商品カタログ



Forest 全国森林組合連合会